

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

街路樹維持管理事業

【 公園海浜課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を行いながら、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行い、街路樹を育成するため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成が図れる。

【事業の内容】

(1) 街路樹維持管理事業

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,741	25,241	25,148		93

主な支出内訳

・街路樹維持管理事業

街路樹愛護会報償費 22団体 1,365

大船駅東口花壇維持管理委託料 1,644

街路樹維持管理等委託料 21,239

〔 清泉小学校街路外57路線 除草27,890㎡ 低木刈込8,150㎡ 萩郷住宅街路外28路線 高木剪定 1,683本 〕

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ○植栽後、数十年が経過し、成長した樹木の根の影響で舗装が隆起するなど歩行障害となっている路線もある。 ○街路樹愛護会については、自治・町内会の一組織に位置づけられているため、役員が交代するなど愛護会の趣旨や活動内容が継承されないことがある。 ○近年、益鳥・益虫の減少による影響などで、害虫の発生が顕著になりつつある。有毒害虫以外は殺虫剤を散布しない方針であるが、薬剤散布を求める声も依然としてある。 ○落ち葉に対する苦情や交通障害の軽減に対応するため、強剪定を強いられることもある。また、一部に道路幅に対して樹木が大きくなっているものがあり、樹種変更の要望がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ○街路樹の根による舗装の破損箇所については、道路管理者に報告し舗装の修繕を行っている。 ○公園愛護会活動を委任している公園協会と連携して、愛護会相互の情報交換を行うなど、活動内容の充実を図るとともに研修会を年2回開催し、街路樹愛護思想の普及向上に努めている。 ○街路樹愛護会の花苗植付の活動を市のホームページで紹介した。 ○町内会と連携して殺虫剤の散布の危険性を住民に周知している。 ○樹種固有の樹形を回復させるために試験的に「街路樹剪定士」の資格を持つ業者に委託している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ○鎌倉山の桜並木については、危険木となりうるような古い樹木が多いが、多くが民地に植えられていることなどから、更新が難しい。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ○鎌倉山の桜並木については、宅地造成等、開発行為による伐採計画が発生した場合は、事業者にはサクラの更新植栽を促していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	街路樹は、道水路管理課からの委任を受け公園海浜課において管理を行っているが、交通安全上、また景観上重要な施設であることから、担当課間の連携により良好な管理を行なう必要がある。また、樹形を保持するため引き続き有資格者等に剪定作業を委託していきたい。				
担当課長氏名:		公園海浜課長代理 川名 達哉			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	街路樹は、みどり豊かな生活空間を形成している。街路樹の効用を最大限維持するために、長期的な維持管理計画を策定する必要がある。				
担当部名	景観部	部長名	土屋 志郎		